

旧 倫 理

(解答番号 ~)

第 1 問 以下のⅠ・Ⅱを読み、後の問い(問 1 ～ 8)に答えよ。なお、会話と問いの A と B は各々全て同じ人物である。(配点 24)

Ⅰ 次の会話は、高校生 A と B が登校中に交わしたものである。

A : おはよう, B。

B : おはよう, A。やけに機嫌が悪いね, どうしたんだい?

A : 昨日見た映画が, 原作のファンタジー小説とは宇宙観の設定が変わっていて…。

B : そんなに深刻な話?

A : そうだよ。㉔宇宙や世界をどういうものと考えているかは, 宗教観とも影響し合うじゃない。なのに宇宙観だけ設定を変えて, 作品内の㉕宗教の戒律はそのままだから, 所々矛盾しちゃってさ! 台なし!

B : それは災難だったね。そうだ, 矛盾と言えば『韓非子』だけど, 今日の倫理の授業は㉖『韓非子』での家と社会のルールの話をするって言ってたね。

A : あ~, 先生, 色々と対比して話すのが好きだよね。先週の㉗宗教と社会のルールとの関係も面白かったけど, 少し難しかったかな。

B : キリスト教とイスラームとでは, 社会との関わり方が異なっているってやつね。授業では社会の制度と宗教の戒律なんかを, 分かりやすくルールと言ってるから, それぞれの差を考えると, より面白くも難しくもなるのかな。

問 1 下線部②に関連して、次のア～エは、様々な思想や宗教における宇宙や世界の捉え方についての説明である。ア～エから適当なものを全て選んだとき、その組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 1

ア パルメニデスは、世界の真のあり方は絶えざる生成消滅のうちにあり、永遠不変な存在はないと考えた。

イ エンペドクレスは、宇宙の構成要素として火・空気・水・土の四つを挙げ、それらによって自然の生成変化を説明した。

ウ 朱子は、宇宙の構造を、万物に内在する原理(理)と、万物の元素である物質的なもの(気)によって考えた。

エ 道家は、万物を育成する宇宙の根源は道であり、万物は有から生じて無に帰す永遠の運動を繰り返すと考えた。

① アとイ

② アとウ

③ アとエ

④ イとウ

⑤ イとエ

⑥ ウとエ

問 2 下線部①に関して、古代インドの宗教的戒律についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

① 仏教とジャイナ教はいずれも、不殺生の戒めを説いたが、仏教ではこれを出家者のための戒めとして、在家信者に説かなかった。

② 仏教教団はブッダの死後、戒律(教団規則)を厳格に守ろうとする大衆部と、柔軟に解釈しようとする進歩的な上座部に分裂した。

③ 仏教の出家者は厳格な禁欲生活を送る必要があったが、在家信者は不邪淫戒を守りながら結婚して家族を持つことが認められた。

④ 六波羅蜜の一つに持戒があるが、これは戒律(教団規則)の遵守を完成させることを目指すもので、在家者のための徳目ではない。

旧倫理

- 問 3 下線部㉔に関して、Aは、授業で配布された次の『韓非子』の資料について、中国思想の知識を踏まえて、後のノートを作成した。ただし、ノートには、適当でない箇所が一つある。資料と中国思想についての説明として適当でないものを、ノート中の下線部㉑～㉔のうちから一つ選べ。

3

資料 『韓非子』より

楚の国に正直者の躬きゆうという人がいた。その父が羊を盗むと、躬はそれを役人に訴えた。楚の大臣は「その者(躬)を殺せ」と言った。君主に対しては正直であっても、父親に対しては誤っていると考え、躬の罪を処断した。こうした例を見ると、君主にとって正直な臣下は、父親にとっては従順ではない子なのである。……楚では大臣が躬を殺してから、悪事が訴えられることはなくなった。

ノート

考え方が異なると、同じ事象に異なる行為が求められ、同じ行為に相反する評価が与えられることがある。

その一例としてこの資料には、躬が父の盗みを告発したことに対する、儒家と法家の対照的な考え方が描かれている。

この話の中で、父の悪事を告発した躬の行動は、君主に対する正直さの表れとして評価されている。これは躬が㉑ 社会を治めるための法律を守っているからであり、法家の立場からの評価である。

一方、楚の大臣が、躬の行為を「父に対しては誤っている」と考えたのは、躬の行為が㉒ 孝に反しているためであり、儒家の考え方に合致している。㉓ 大臣が躬を処刑した結果、人々は不正を告発することを避けるようになったという。

この話を通じて韓非子は、㉔ 公的な秩序を保つためには、私的な情愛によって法の不備を補う必要があると訴えている。

- 問 4 下線部④に関連して、次の資料は、イエスが、異教徒であるローマ皇帝への納税について質問された状況を描いたものである。資料の内容とイスラームの事例とを比較した説明として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

4

資料 新約聖書「ルカによる福音書」より

「私たちが皇帝に税金を納めるのは許されているのでしょうか、いないのでしょうか。」イエスは……言われた。「デナリオン銀貨を見せなさい。そこには、誰の肖像と銘があるか。」彼らが「皇帝のものです」と言うと、イエスは言われた。「それならば、皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい。」

- ① 資料では、社会的なルールである納税が、神への信仰と矛盾しないことを、イエスが示している。一方イスラームでは、貧者救済のために財産の一部を与える喜捨が信者の務めとされており、信仰に基づく社会において納税の機能を果たしている。
- ② 資料では、皇帝への服従を重んじることによって、社会的規範を神への信仰よりも優先することを、イエスが求めている。一方イスラームでは、社会的規範の遵守という外面的な行動より、内面的な神への信仰心のほうが重要であると考えられた。
- ③ 資料では、皇帝に税金を納めるという社会的義務を否定することによって、神以外の権威に服従することを、イエスが拒否している。一方イスラームでは、創造主である神に絶対的に服従することが、すべての信者の務めとして求められている。
- ④ 資料では、神への義務と社会の統治者としての皇帝への義務とを共に認めて、両者の共存を、イエスが説いている。一方イスラームでは、信者の共同体の中に政治的指導者と聖職者が置かれ、特に聖職者への義務は神への義務に準ずるものとして重視された。

旧倫理

Ⅱ 次の会話は、44 ページの会話の十日後に A と B が交わしたものである。

B：おはよう，A。もしかして今日も不機嫌？

A：聞いて。弟もあの映画を見たんだけど，原作より面白いとか言っていてね。それでちょっと言い合いに…。

B：普段は仲のよさそうな話が多いのに，けんかしちゃったの？

A：いや，けんかになりそうだったから，互いの好きなものは悪く言わないっていうルールを作って，守ることにしたんだ。

B：お互いの好きなものは尊重し合うことにしたんだ，それはいいね。

A：でも，そのせいで，家の中でも言いたいことが言えなくて…。

B：それで機嫌が悪いんだ。でも，それで A が相手の趣味や価値観に腹を立てないようになれるなら，やっぱりいいことじゃないかな。

A：え？ 腹は立ってるよ？

B：今はそうかもしれないけど，自分の価値観を大切にしながら他の人の価値観も尊重する練習だと思ってさ。いずれ㉔社会で意見の合わない人と生きていくためにも，少しずつ㉕実践したらどうかな。

A：それって自分で自分にルールを課すってことにならない？ なんかあの映画に出てきた㉖神との契約の話を思い出しちゃった。とても窮屈そう。

B：気持ちは分かるけど，これから㉗他者と共に生きていくためには，自分が変わっていくことも大事なんじゃない？

A：はあ，しょうがないな～。少しずつ頑張ってみるか。ところで B も何かそういう実践してるの？

B：友達の話はなるべく聞くようにしてる。

A：ほんとごめん。

B：どういたしまして。

問 5 下線部㉔に関連して、様々な思想や宗教による社会の捉え方として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① ストア派は、全ての人間は情念を持つがゆえに、ポリスという社会的な枠組みを超えて、世界市民となるという考えを提唱した。
- ② エピクロス派は、社会での公共生活が人間の心の平安を乱す一因と考え、理想的な生き方の実現のために「隠れて生きよ」を信条とした。
- ③ バラモン教の司祭者バラモンは、四つのヴァルナ(種姓)から成る社会秩序の構築や維持には関与せず、個人の宗教的救済を説いた。
- ④ ゴータマ・ブッダは、極端な苦行と快楽とを否定して、個人の社会的義務である業(カルマ)を遂行するべきことを説いた。

問 6 下線部㉕に関して、様々な思想における実践についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① ソクラテスは、名誉のために正しく生きるべきだという自らの主張を実践し、アテナイ人の下した死刑判決に従って毒杯を仰いで死んだ。
- ② アリストテレスは、中庸を選択する行為の習慣付けによって、欲望や感情を適正に方向付け、倫理的な徳を習得することができると考えた。
- ③ 孟子は、全ての人がその身に備えている四徳を養い育てることによって、四端を身に付けた道徳的な人格を完成させることができると説いた。
- ④ 王陽明は、自分以外の事物に関する知識を学び続けることによって、善悪是非を判断する心の働きを理解することができると説いた。

旧倫理

問 7 下線部㉔に関連して、次の資料は、神との契約に関する聖書の記述である。

資料に関する後の説明中の空欄 **a** ・ **b** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **7**

資料 旧約聖書より

イスラエルの神、主はこう言われる。この契約の言葉に聞き従わない者は呪われる。それは、あなたがたの先祖をエジプトの地……から導き出した日に、彼らに命じたものである。私は言った。「私の声に聞き従い、私があなたがたに命じることをすべて行えば、あなたがたは私の民となり、私はあなたがたの神となる。」……しかし、……イスラエルの家とユダの家は、私がその先祖と結んだ私の契約を破った。……それゆえ、……私は彼らに災いをもたらす。彼らはそれから逃れることはできない。

説明

ここには、預言者 **a** に語りかける神の言葉が記されている。神は、イスラエルの民がエジプトを脱出した出来事を思い起こさせた上で、イスラエルとユダの両王国に「災い」がもたらされると告げる。「災い」とは、王国の滅亡やバビロン捕囚を指すと考えられるが、こうした苦難が、**b** として理解されているのである。そしてその後、律法を守りつつ危機を乗り越えた人々が、ユダヤ教の基礎を据えることになる。

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| ① a アブラハム | b 神との契約を破った罰 |
| ② a アブラハム | b 先祖の罪に対する贖い ^{あがな} |
| ③ a モーセ | b 神との契約を破った罰 |
| ④ a モーセ | b 先祖の罪に対する贖い |
| ⑤ a エレミヤ(エレミア) | b 神との契約を破った罰 |
| ⑥ a エレミヤ(エレミア) | b 先祖の罪に対する贖い |

- 問 8 下線部①に関連して、次の資料1・2は、異なる信仰を持つ者たちへのイスラームの対応について述べた文章で、48 ページの会話の数日後の倫理の授業で配られたものである。AとBは、これらの資料を読み、後の会話を交わした。会話中の空欄 **a** ～ **c** に入る記述の組合せとして最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **8**

資料1 クルアーンより

省 略

*廉直：心が清らかで偽りのないさま **跪拝：膝をついた拝礼

資料2 『ムハンマド伝』より

省 略

*アウフ族：メディナに居住していた一部族

- A：資料1にある啓典の民って、イスラームの立場から見たユダヤ教徒やキリスト教徒のことだっけ。
- B：そう、イスラームにおいて旧約聖書や新約聖書は、 **a** として考えられるので、そう呼ばれるんだ。ここで出てくる「共同体」は、ムスリムの共同体ではなく、啓典の民の共同体という意味だね。
- A：資料2は、メッカで迫害されたムハンマドたちがメディナに逃れたとき、メディナのユダヤ教徒たちと結んだ契約で、ユダヤ教徒を仲間として見ているのか。でもイスラームではアッラーを信じない人は罰せられると聞いたことがあるよ？

旧倫理

B：資料1と資料2にはユダヤ教徒にも **b** とあるね。当時のムスリムたちは、ユダヤ教徒と共存する必要があったんだ。その共存がアッラーの教えに反していないという根拠は、アッラーの言葉の中にあるんだね。

A：なるほど。ムスリムがユダヤ教徒に、 **c** という、自分たちとの共通点を見いだせたからこそ、共存できたのかな。それなら、たとえ価値観の異なる相手でも、共有できる何かを持っているかもしれないね。他者と共に生きていくためには、相手を深く知ろうとすることを、自分へのルールにすればいいのかな。でも、それで駄目ならどうしよう？

B：難しそう？

A：まあ、できることからかな。

- ①
 - a アッラーがユダヤ教の預言者やイエスたちに下した啓示を記した啓典
 - b クルアーンを啓典として受け入れる人々がいるので、メディナのユダヤ教徒はムスリム共同体の一員となることを認められた
 - c 信仰に基づいた生活をしている
- ②
 - a クルアーンと同様、アッラーの教えを人々に伝える啓典
 - b 神を正しく信仰していると神が認める人々がいるので、メディナのユダヤ教徒は自分たちの宗教伝統を保つことを許された
 - c ユダヤ教の神と共にアッラーも信仰している
- ③
 - a クルアーンと同等ではないが、アッラーの教えを記した啓典
 - b 善い信者の共同体を形成できる人々がいるので、メディナのユダヤ教徒はムスリムのように自分たちの集団を持つことを認められた
 - c 神の言葉を信じ、その教義を守っている
- ④
 - a シャリーアの根拠の一部となる、クルアーンと同等の啓典
 - b アッラーの教えを守り、正しく生きる人々がいるので、メディナのユダヤ教徒はイスラームへの改宗を強制されなかった
 - c 一神教徒として生きている

第2問 以下のⅠ・Ⅱを読み、後の問い(問1～8)に答えよ。なお、会話と問いのCとTは各々全て同じ人物である。(配点 24)

Ⅰ 次の会話は、生徒会での話し合いを終えた高校生Cが、先生Tと交わしたものである。

T：Cさん、どうかしましたか？ 元気がないようですが。

C：実は生徒会の活動で行き詰まっていて…。私はよりよい学校にしたいと思って、色々な提案をしてるんですけど、みんなが付いてきてくれないんです。今ある㉠仕組みに大して不満はないし、苦勞して変えるのは面倒くさいとか、理想を語ってもどうせうまくいかないと言われて…。

T：そんなことがあったんですね。現実を変えるには難しさもありますね。

C：もうむなしくて心が折れそうです。

T：でも、理想を追求するのはとても意味のあることだと思いますよ。歴史を振り返っても、理想の生き方や社会を目指した思想家は何人もいました。

C：言われてみればそうですね。ええと、例えば…。

T：昨日の倫理の授業で、㉢本居宣長の思想を扱いましたよね。彼が説いた「古道」は、人間の理想的な生き方を彼なりに示そうとしたものと言えます。

C：なるほど、ほんとだ。そういえば、以前の授業でも、世の中を理想的な社会に近づけようとした㉣最澄の話をされていましたね。

T：もう少し詳しく調べてみたらどうでしょう。理想を追求した様々な思想家の試みを学んでいくと、もしかしたらCさんの悩みを解決するヒントが見つかるかもしれませんよ。

C：そうですね。後で図書館に行って本を探してみます。

旧倫理

問 1 下線部②に関連して、江戸時代の身分制度をめぐって、仏教の立場から独自の思想を生み出した鈴木正三についての説明として最も適切なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① それぞれが自分の家^{かしよく}職に励みつつ、余暇を活用して仏道修行をすることで、社会を安定させることができると説いた。
- ② 仏教的な平等観から、士農工商という身分秩序には根拠がないとして批判し、農工商の人々が家職に誇りを持つことを求めた。
- ③ 農民なら農作業、商人なら商売というように、それぞれの身分に応じて家職に励むことが仏道修行になると主張した。
- ④ 戦乱のない時代に生きる武士は、自分の身を犠牲にして主君に尽くすよりも、仏道修行を優先させるべきだと論じた。

問 2 下線部①に関して、本居宣長の思想についての説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① 感情を抑制しながら生きた古代の女性の姿を「たをやめぶり(たおやめぶり)」として高く評価し、それが和歌に表現されていると考えた。
- ② 『古事記』に見られる神々の事跡を、道理や理屈によって明らかにする学問的態度を提唱した。
- ③ 古代以来、天皇が人々の平安を仏に祈ってきたことが、日本の優れているところだと主張した。
- ④ 事物に接したとき、そのありようを素直に感受し、感動する人だけが、他者の喜びや悲しみに共感することができると説いた。

- 問 3 下線部㉔に関して、次の資料は、大乘仏教の思想に基づき、理想的な社会の実現を目指した最澄の文である。最澄の思想と資料の内容の説明として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 11

資料 「天台法華宗^{ねんぶん どしや えしやうこうだいしき}年分度者回小向大式」より

菩薩は国の宝であるということは『法華經』に書かれている。……いまだ起こっていない災厄は、菩薩でなければ防ぐことができない。菩薩の利他の徳、大慈悲の力は、仏に讃^{たた}えられ、人と天によって歓喜されている。……国の宝、国に利益を与える者は、菩薩でなくて一体誰であろうか。……その守るべき大乘菩薩戒は広大なもので、出家にも在家にも一貫して用いられるべきものである。……『法華經』では出家の菩薩も在家の菩薩も区別はなく、いずれも小乗の僧侶の間ではない。……ところが現在、この大乘の菩薩は、まだ日本には伝えられていない。

- ① 一切衆生が仏になる可能性を持っているとする一乗思想を説いた最澄は、資料において、将来起こるであろう災厄を防ぐ力を持つのは、仏だけであると主張した。
- ② 『法華經』の大乘精神こそが真の仏教の教えであるとし、唱題の行を重視した最澄は、資料において、利他に努める菩薩は、人間や天のみならず、仏にも讃えられる存在であるとした。
- ③ 唐における求法^{くほう}で、法華經・密教・浄土教・戒の四宗の教えを学んだ最澄は、資料において、国益をもたらす国の宝となるべき菩薩は、出家した僧侶だけがその役割を担うべきであると述べた。
- ④ 大乘菩薩戒のみを授かることで、正式な僧侶となる制度の確立を目指した最澄は、資料において、大乘菩薩戒は僧侶だけでなく、在家者も守るべきものだと説いた。

旧倫理

- Ⅱ 53 ページの会話の後、Cは図書館へ行き、「私はユートピアなどいない」というエッセイを見付けた。次の資料はこのエッセイからの抜粋である。CとTはこの資料をもとに、後の会話を交わした。

資料 桑原武夫「私はユートピアなどいない」より

理想ないし欲望はありながら、その実現手段ないし筋道が考えられないとき、人はユートピアを思う。

人間が自分の運命をきりひらく力のなかった古代中世には、ユートピア思想は世界に充満していただろう。……近代とは、科学をもって自然を支配し、人間は人間の世の中を改めて行くことができるという自信に到達した人間が、ユートピアを拒否ないし追放したことであろう。もちろん、理想が一挙に実現されるものではない(そうした考え方こそユートピア的だ)。しかし、目標をたて計画性をもって、^{いつ ぽいつ ぽ}一歩々々それに近づくことが、近代人の特色である。

T：「ユートピア」は理想郷という意味の言葉ですね。

C：聞いたことがあります。たしか、「どこにもない場所」という意味もありますよね。㉑ 今こことは違う、空想上の世界というか。ユートピアというのは、西洋に特有のものでしょうか？

T：日本にも同様の発想は見られますよ。例えば古代末期から中世に盛んになった㉒ 浄土信仰は、一種のユートピア思想と言えるかもしれません。

C：なるほど。このエッセイでは、古代や中世とは違って、近代になるとユートピアが不要になったと言っているみたいですね。ユートピアを空想する代わりに、㉓ 人間の力で世の中を改めていこうとする動きが生まれたと。

T：はい。日本でも江戸時代の㉔ 荻生徂徠に、すでにその萌芽^{ほう が}が見られます。

C：逆に言うと、ユートピアを思うことは、人間の無力さの証^{あか}しなのかな。

問 4 下線部㉑に関連して、日本の人々は、生活世界の外部に様々な他界を想像してきた。次のア～ウは、他界に関わる神話や学説についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 12

ア 神代の神話において、高天原を主宰するアマテラスは、清明心を持っていることをスサノヲに示すために禊を行った。

イ 柳田国男によると、死者は住み慣れた村落の周辺に住んで、子孫を見守り、幸福をもたらす存在と考えられてきた。

ウ 折口信夫によると、海の彼方の常世国から時を定めて村を訪れ、^{ほうじょう}豊穰をもたらす存在への信仰が、日本の神の原型を成している。

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 正 | ② | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 | ④ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 | ⑥ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑦ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 | ⑧ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 誤 |

問 5 下線部㉒に関して、浄土信仰を説いた僧侶についての説明として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 一遍は、仏の救いを信じさえすれば誰でも往生できるとして、全国を行脚しながら念仏札を配り、遊行上人と呼ばれた。
- ② 法然は、教・行・証のうち教のみが残る時代には、自力修行で悟りを目指す聖道門でなく、他力で往生する浄土門がふさわしいとした。
- ③ 源信は、心に阿弥陀仏や極楽浄土のありようを思い念ずる観想念仏の実践を重視し、口称念仏の実践に対しては否定的な態度をとった。
- ④ 蓮如は、他宗派からの論難に対する反論のために、親鸞による浄土の教えに詳細な注解を施した御文(御文章)を著した。

旧倫理

- 問 6 下線部①に関連して、次の資料は、白樺派の文学者である武者小路実篤が理想的社会の要件について述べたものである。武者小路実篤についての説明を後のア～ウから、空欄 **a** に入る記述をエ・オから、それぞれ選んだとき、その組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **14**

資料 『理想的社会』より

- 一、すべての人が、人力で得られる限りにおいて長生きするように十分注意されていること。
- 一、 **a**。
- 一、すべての人が出来るだけ多くの喜びを感じて生きられるように注意されていること。

武者小路実篤についての説明

- ア 現実的な社会改良を目指し、トルストイの理想主義を批判した。
- イ 人道主義の理念に基づく共同体の試みとして、「新しき村」を建設した。
- ウ キリスト教の影響を受け、急進的社会主義によって社会変革を試みた。

a に入る記述

- エ 各個人が、出来るだけ自己の趣味、自己の正しき要求、天職、個性を発揮出来るように注意されていること
- オ 各個人が、出来るだけ自己の趣味、自己の内なる要求、性向、個性の発露を控え、全体の調和に資するように注意されていること

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ① ア・エ | ② ア・オ | ③ イ・エ |
| ④ イ・オ | ⑤ ウ・エ | ⑥ ウ・オ |

- 問 7 下線部㉔に関して、次の資料は荻生徂徠が先王の道について述べたものである。荻生徂徠の思想の説明と、資料の内容の説明として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

15

資料 『弁道』より

先王の道は、先王たちが創造したものである。天地自然に備わっているものではない。……その心はひとえに天下を安泰にすることを任務とし、知恵や工夫を尽くして、この道を作り上げ、天下後世の人々のよるべき規範・方針としたのだ。……道は、数千年を重ね、多くの聖人の努力によって完成されたわけで、一人の聖人の一生の力だけで完成できるようなものではない。だから孔子でさえ、学んでから道を知ったのである。

- ① 荻生徂徠は、孔子や孟子が説いた個人の修養を追求する古学の方法を推し進め、先王の道を明らかにしようとした。資料では、孔子が説いた教えを基礎として、多くの聖人がこの道を作り上げたと言われている。
- ② 荻生徂徠は、先王の道が内面的な道徳ではなく、政治的・制度的な安天下の道であることを強調した。資料では、先王が知恵や工夫を尽くして、天地自然に備わった道を発見したと述べられている。
- ③ 荻生徂徠は、人々が礼楽刑政としての道に従って生きることで、おのずと世が治まるのだと説いた。資料では、この道は多くの先王によって作り上げられたものであり、孔子はそれを学び、会得したのだとされている。
- ④ 荻生徂徠は、全ての人々が学問を積み重ねて聖人となり、経世済民の実現を目指すべきだと主張した。資料では、天下を安泰にするために、多くの聖人が努力を重ねて道を創造したと語られている。

旧倫理

問 8 次の会話と資料(続き)は、ともに 56 ページから続くものである。56 ページの会話と資料も踏まえて、会話中の空欄 **a** ・ **b** に入る記述として最も適当なものを次ページのア～カから選んだとき、その組合せとして正しいものを、後の①～⑨のうちから一つ選べ。 **16**

C：やっぱり、21 世紀に理想を語るなんて、私は時代遅れなんじゃないか…。

T：でも、先ほどのエッセイの続きを読んでもみると、少し印象が変わるかもしれませんよ。

資料(続き) 桑原武夫「私はユートピアなどいらない」より

たとえば……世界人権宣言、あの程度のことすら、今の日本ではユートピアといえるかもしれないが、それをユートピアと見なすことを拒否して、現実の努力の対象としたい。人がユートピアを語らぬ世界、それが強いといえば私のユートピアだ。私はユートピアなんかほしくはない。

T：この文章が書かれたのは、国連総会で世界人権宣言が採択されて間もない時期です。著者から見て、当時の日本は、全ての人間の自由や平等を謳う世界人権宣言の理想には程遠い状況だったようですね。でも、著者は「ユートピア」を同時代のテーマとして改めて考えようとしています。

C：本当だ。ええと、著者は **a** ということでしょうか。

T：そういうことだと思います。

C：例えば、**b** ことなども、著者の考えに沿う一つの実例として理解することができそうですね。なんだか、この前の生徒会の話合いがうまくいかなかった理由も、理想を諦めてはいけないということも、分かってきた気がします。今からみんなともう一度話してきます！

a に入る記述

- ア 人々が理想は一挙に実現されるものではないということを理解し、近代社会の達成をかみ締めながら生きることが重要だと考えているわけですね。だから、「ユートピア」はすでに私たちの社会で達成されているのであり、ことさら目標として掲げる必要はないと考えている
- イ 人々が科学技術を発達させて自然を支配し、自分の運命を切り開けるようになったことを評価しているわけですね。それで、古代・中世的な「ユートピア」を追放して、科学的知識に裏打ちされた、未来的な「ユートピア」を思い描くことを求めている
- ウ 人々が実現不可能なものとして理想郷を空想するのではなく、理想の実現に向けて堅実な努力を続けていくべきだと考えているわけですね。つまり、「ユートピア」を思うことやその内容以上に、人々が「ユートピア」にどのような向き合うのかを問うている

b に入る記述

- エ 北一輝が、資本主義によって貧富の差が拡大する状況を批判し、国民主権と社会主義の実現を唱えた
- オ 岸田俊子や景山(福田)英子が、自由民権運動に参加して男尊女卑の風潮に^{あらが}抗い、男女同権や女性の解放を訴えた
- カ 田山花袋が、自己の内面の醜さに向き合い、ありのままの現実を描こうとする自然主義を提唱した

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① a — ア | b — エ | ② a — ア | b — オ |
| ③ a — ア | b — カ | ④ a — イ | b — エ |
| ⑤ a — イ | b — オ | ⑥ a — イ | b — カ |
| ⑦ a — ウ | b — エ | ⑧ a — ウ | b — オ |
| ⑨ a — ウ | b — カ | | |

旧倫理

第3問 次の文章を読み、後の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

「理性的動物」という言葉に代表されるように、古くから人間は他の動物たちとの関係の中で理解されてきた。そのような人間以外の動物について、西洋の近現代思想でどのように論じられてきたのか見てみよう。

例えば、16世紀の思想家である㉔モンテーニュは、一般的には人間だけが持つと考えられていた判断や推論の能力を、多くの動物が備えていると指摘していた。その点について彼は、様々な具体的事例を挙げて説明している。

17世紀に入ると、デカルトが動物を魂のない自動人形と理解する「動物機械論」を示した。このデカルトの見解は哲学者の間で論争となり、合理論の立場をとる㉕ライプニッツは動物にも魂があると主張した。また㉖経験論の側でも、動物に知性があると指摘する哲学者も現れた。

このような哲学者たちの動物に関する見解の相違は、動物を倫理的対象として捉えるかどうかという問題とも無関係ではない。18世紀の倫理思想に関して言えば、動物に対する配慮の必要を指摘する哲学者もいたが、㉗カントの倫理学では、動物は人間と全く同じ地位では扱われていなかった。

こうした人間と他の動物との相違が強調されていた状況は、19世紀以降の生物学の進展、特に㉘進化論の登場によって徐々に変化していった。そして哲学でも、人間と他の動物との間に多くの共通点があることを踏まえつつ、改めて両者の関係が問われることになった。そうした中で、例えば㉙ハイデガーは、㉚現象学から多くを学び、様々な生物がそれぞれの能力に応じた固有の環境を有しているという生物学の知見を踏まえて、動物に関する独自の考察を展開した。

そして現代の動物と倫理の関係について言えば、20世紀後半に登場した動物解放論*の影響により、様々な領域で動物に対する振る舞いの見直しが迫られてきた。だが動物解放論は、動物に対する倫理的配慮の必要性に気付かせると同時に、それを徹底することの難しさも私たちに突き付けている。動物について考えることは、「倫理とは何か」を考える上でも極めて重要な問題なのである。

*動物解放論：人間以外の動物の福祉も人間と平等に配慮されるべきとする議論

問 1 下線部②に関して、次のア～ウは、モンテーニュの思想の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 17

ア 古代の懐疑主義に影響を受けて、人間として望ましいあり方は、生きた経験から絶えず学び、謙虚に自己吟味を怠らないことであると説いた。

イ 「われ何を知るか」という精神から自己反省の必要を説き、決定的回心を経て、キリスト教を擁護する著作の完成に努めた。

ウ 宗教戦争の悲惨さを経験して、厳格な道徳に基づく政治の必要性を訴え続けたことから、モラリストと呼ばれている。

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ② | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ④ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑦ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ⑧ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 誤 |

旧倫理

問 2 下線部①に関して、ライプニッツの思想の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 神は実体を創造する際に、それぞれの実体が互いに調和するようにあらかじめ定めたという予定調和の説を唱えた。
- ② 神があらゆる可能性を考慮しつつ最善の世界を創造したことを人間が理解するためには、事物を永遠の相のもとに見る必要があると主張した。
- ③ 自然は神そのものの現れであり、あらゆる出来事は神に起因するものであるという汎神論を説いた。
- ④ 世界はそれ以上分割不可能な無数の空間的実体によって構成されていると指摘し、この実体をモナドと呼んだ。

問 3 下線部㉔に関連して、ある生徒が倫理の授業で扱われたロックの思想を復習するため、とあるチャットボット*に次のとおり質問をしたところ、その回答が授業での学びと異なっているのに気付いた。ロックの思想の説明として適当でないものを、次の回答中の下線部①～④のうちから一つ選べ。 19

*チャットボット：AI との自然な会話を目的に作られたプログラムのこと

質問：

哲学者のロックの思想について教えて。

回答：

哲学者のロックは、①人間の知識は心に生まれつき備わっている観念に基づくという考え方を批判したことで知られています。また、②存在と知覚は決して別なものではなく、実体として存在するのは精神だけであるとも主張しています。そして、③人間が社会契約によって国家を成立させるのは、互いの所有権を安定させるためであると考えました。ただし、④国家の代表者である政府が権力を濫用する場合には、人民にはそれに対抗する抵抗権や革命権があるとも説明しています。

- 問 4 下線部④に関して、次の資料は、人間以外の動物の倫理的地位についてカントが論じたものである。カントの思想と資料の説明として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

20

資料

『倫理学講義』より

動物は自分自身を意識していないので、動物は単に手段としてだけ存在していて、それ自身のために存在するのではない。しかし人間は目的として存在している。……だから私たちは動物に対する直接的な義務を持たず、むしろ動物に対する義務は人間性に対する間接的な義務なのである。

『人倫の形而上学(道徳形而上学)』より

理性を欠くが生命ある被造物に関して、動物を暴力的かつ残虐に扱うことは、人間の自己自身に対する義務に、より一層心底から背いている。なぜなら、そうすることによって、動物の苦痛に対する共感が人間の中で鈍くなってしまい、ひいては、他の人間との関係における道徳性に極めて有益な自然的素質が弱められ、徐々に根絶されてしまうからである。

- ① 理論理性と実践理性との区別を否定したカントは、資料では、動物は理性を欠いているが生命ある被造物であるため、人間はそうした動物を目的として扱う直接的な義務を持っていると述べている。
- ② 人々が互いに人格として尊重し合う社会を目的の国と呼んだカントは、資料では、動物は単に手段としてのみ存在しているので、人間が動物を自分のためにどのように利用したとしても問題はないと述べている。
- ③ 数ある無条件に善いものの一つとして善意志を指摘したカントは、資料では、動物は苦痛を感じる存在であり、人間の共感能力を弱めてしまわないためにも、動物を残虐に扱ってはいけないと述べている。
- ④ 定言命法に従うことを意志の自律と考えたカントは、資料では、動物は自らを意識することがない存在であるが、人間が動物に対して配慮することは人間自身に対する義務に従うことになると述べている。

旧倫理

問 5 下線部㉔に関して、生物の進化や社会の進歩を論じた思想についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① ダーウィンは、進化の自然選択説(自然淘汰説)を唱え、生存可能性を高めるために生物が自ら環境に適応するよう変異していくと主張した。
- ② スпенサーは、適者生存と自由競争の原理で自然に成長する社会に対して、国家が干渉することを批判し、個人の自由な活動を擁護した。
- ③ ダーウィンは、進化論の提唱によって、神が創造した世界において生物種は不変であると考えてきたキリスト教の機械論的自然観に打撃を与えた。
- ④ スペンサーは、社会が生物のように進化していく社会進化論を提唱し、産業型社会から軍事型社会に進んでいくと考えた。

- 問 6 下線部①に関して、次の資料は、ハイデガーが人間との対比において動物について論じたものである。ハイデガーの思想と、資料の内容や資料に基づく説明として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 22

資料 『形而上学の根本諸概念』より

省 略

- ① 人間が初めから世界に投げ出されて存在している事態を「被投性」と名付けたハイデガーは、資料では、動物は、衝動のみによって振る舞うからこそ、あるものをそのものとして把握していると考えている。
- ② 未来に向かって新しい自己を形成しようとするあり方を「対自存在」と規定したハイデガーは、資料では、動物は、常に何かにとらわれて振る舞うがゆえに、世界が貧しいと説明している。
- ③ 自らの存在に関心を持ち、その意味を問うことのできる存在者を「現存在」と呼んだハイデガーの資料に基づけば、人間は、あるものにとらわれるのではなく、それを存在するものとして把握できると言える。
- ④ 人間の力だけでは解明も克服もできない事態を「限界状況」と命名したハイデガーの資料に基づけば、人間は、常にとらわれている衝動を自覚的に受け止めることができるので、動物と分け隔てられていると言える。

旧倫理

問 7 下線部㉔に関して、次のア～ウは、現象学から影響を受けた人物についての説明である。ア～ウから適当なものを全て選んだとき、その組合せとして正しいものを、後の①～⑦のうちから一つ選べ。 23

ア ボーヴォワールは、男性優位な社会のあり方を批判して、女性が社会の中で自らの生き方を自由に選択できなければならないと主張した。

イ 九鬼周造は、西洋と東洋両文化の深い理解から、人間が社会の中で孤立した個人ではなく、他者との関係の中で生きる間柄的存在だと提唱した。

ウ サルトルは、個人が何者かになる自由を擁護しつつ、自己の選択は個人の重荷になるため、他者と責任を分け合いその重荷を軽減できると考えた。

① ア

② イ

③ ウ

④ アとイ

⑤ アとウ

⑥ イとウ

⑦ アとイとウ

問 8 次の資料は、ベンサムが動物について述べたものである。高校生 D は、62 ページの文章と、この資料を読み、先生 T と後の会話を交わした。62 ページの文章と次の資料を踏まえて、会話中の空欄 **a** ・ **b** に入る記述の組合せとして最も適当なものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

24

資料 『道徳および立法の諸原理序説』より

暴政の手によってしか人間から奪われたことのない権利が、人間以外の動物にも与えられる日が訪れるかもしれない。既にフランス人は、肌の色が黒いからといって、ある人間を何らの代償もなく気まぐれに苦しめてよいわけではないことに気付いている。同様に、手足の数や皮膚を覆う毛などがどうだからといって、感覚を持つ生き物を同じ目に遭わせてよいわけではないことを認める日が、やがては訪れるかもしれない。そうした外見の違い以外のどこに越えられない線を引けばよいのか。理性の能力だろうか、あるいは会話の能力だろうか。しかし、十分に成長した馬や犬は、生後 1 日、1 週間、1 か月の若い人間とは比較にならないほど理性的だったり、会話できたりする動物である。とはいえ、仮にそういう話でないとしたら、何が線引きに役立つのだろうか。問題となるのは、動物が理性を働かせることはできるかということでも、動物が会話できるかということでもなく、動物が苦しむことができるかということなのである。

T : 資料では **a** と指摘されています。ベンサムの見解は、倫理的配慮の対象を線引きする新たな基準として、動物解放論に影響を与えました。

D : 人間と他の動物との区別を疑問視する考えには共感しましたが、彼の示した基準だと、人間以外の動物が配慮の必要な存在になっても、新たな差別や問題を引き起こしそうですね。でも、倫理では配慮の必要な対象とそうでないものとを分ける基準が必要なのではないでしょうか…。

T : そうした線引きを不要にできるのか、不要にできないとすればどのように考えていく必要があるのか、それは難しい問題です。ただ、その基準や線引きに鋭敏であることは大事だと思います。全体として見れば、これまで

旧倫理

は人間だけの利益に配慮するような倫理でした。それでも多くの哲学者たちは動物のことを強く意識していました。それはなぜだと思いますか？

D：やはり人間も動物だからではないでしょうか。過去の哲学にも学びつつ、これからの倫理のあり方として **b** と思います。

- ①
 - a 一部の十分に成長した動物は、生まれたばかりの幼い人間と比べて能力が劣るわけではなく、むしろ理性的である
 - b 過去のどの哲学者たちも動物たちのことを倫理的に顧みていなかった点を反省した新たな倫理を模索しなければならない
- ②
 - a 生後間もない人間に^{まさ}優るほどの意思疎通の能力があり、会話が可能な一部の動物たちについては、気まぐれに苦しめてはならない
 - b 人間の利益のみを配慮した倫理ではなく、人間以外の存在のことも考慮した倫理を考えなければならない
- ③
 - a 動物と人間を外見上の違いから区別せずに、理性を働かせることができるかどうかで区別すべきである
 - b 倫理の対象となる範囲を拡張して、生き物全般ではなくても、人間と同様に知能の高い動物については倫理的に配慮しなければならない
- ④
 - a 会話の能力の有無で動物と人間の間に境界線を引くのではなく、苦痛を感じることができるかどうかを重視すべきである
 - b 何をどこまで倫理的に配慮するのかという点にも注意して、人間以外の動物も視野に入れた倫理を考えていかなければならない

第4問 以下のⅠ・Ⅱを読み、後の問い(問1～9)に答えよ。なお、会話と問いのEとFは各々全て同じ人物である。(配点 28)

Ⅰ 次の会話は、ある日の放課後に、高校生EとFが交わしたものである。

E：この前、あるSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)で、好きな漫画家に対する匿名のひどい①投稿を見て、つらかったんだ。匿名って良くないよ。無責任な投稿や虚偽情報の投稿を誘発してしまっていると思う。

F：うーん、確かに匿名のひどい書き込みは多いよね。でも、匿名の良さというか、匿名じゃないと発信できないような意見もあるんじゃない？

E：そうかな？ 例えばどう思うのだろうか。

F：例えば、②医療の現場で生じるような問題については、意見が分かれることも多いので、実名だと自分の考えをオープンにしづらいこともあるよね。不正を告発するのだって、匿名じゃないとできないかも知れない。そもそも、匿名を禁じることは、インターネットという③メディアの良さでもある、誰でも何でも発信できる自由さを損なってしまうと思うんだ。

E：なるほど、確かに匿名でないと言えないこともあるね…。だからといって、^{ひぼう}誹謗中傷や、④人々の共生の妨げになるような虚偽情報を書き込んでもよいということにはならないよね？ 偏見を助長するようなひどい書き込みについては、何か歯止めをかけなければならないんじゃないかな。

F：でも、実際問題、歯止めをかけるのは無理じゃない？ 情報を受け取る人が、例えば偏見は偏見と見極められるようにするぐらいしか、できないんじゃないかな。それに名誉毀損^{きそん}なら、通報することだってできるんだし。

E：ええと、確かに、みんなが⑤成熟して、真つ当な意見を判別できるようになれば、それは良いことだと思う。だけど、実際にはインターネット上の誹謗中傷が大きな社会問題になっているし、通報されなければ何でも書き込んでよいというわけでもないでしょう？ やっぱり発信する人についても、姿勢^{せいし}というか責任^{せきにん}というか、少し何か考えるべきだと思うんだ。

F：そう言われるとそんな気もするけど、じゃあどうしたらいいんだろう。

旧倫理

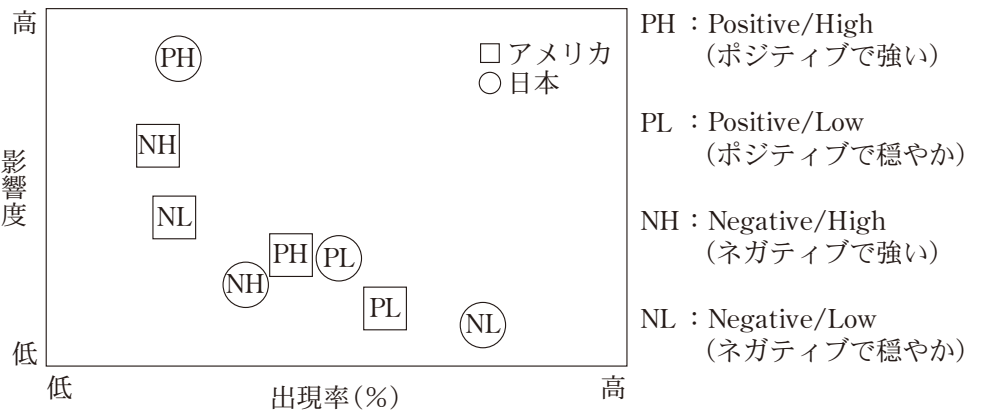
問 1 下線部④に関連して、次の資料は、日本とアメリカにおける SNS への投稿内容に含まれる感情についての調査方法を説明したものであり、また、後の図は、その調査の結果を表したものである。資料と図を踏まえて、後の考察中の空欄 **a** ・ **b** ・ **c** に入る記述として最も適当なものを後の (ア・イ) (ウ・エ) (オ・カ) からそれぞれ選んだ場合、それらの組合せとして正しいものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 **25**

資料

日本とアメリカにおいて SNS に投稿された文章の内容を、「ポジティブで強い(PH)」, 「ポジティブで穏やか(PL)」, 「ネガティブで強い(NH)」, 「ネガティブで穏やか(NL)」の四つの感情タイプに分類し、各タイプの投稿の出現率を算出した。例えば、PH は強い好意や賞賛等の表現を含む投稿、NL は穏やかな怒りや悲しみ等の表現を含む投稿であった。

次に、各投稿の内容と、その投稿者が直前 1 時間に見た他者の投稿内容を分析し、影響度を算出した。なお、ある感情タイプの投稿の影響度とは、そのタイプの感情表現を含む他者の投稿を見た際に、投稿者も同様の感情表現を含む投稿をする頻度が高まる度合いのことである。

図 各感情タイプの投稿の出現率と影響度



(資料) Hsu, T. W. (他), *Journal of Personality and Social Psychology*, 121 (5), 2021 より作成。

考察

資料と図によると、**a**。また、影響度の定義を踏まえると、アメリカでは、他人のネガティブで強い感情表現を含む投稿を見た際に、**b**をする頻度が最も高まりやすい。一般に、アメリカの人々はポジティブな感情表現に価値を置く一方、日本の人々は穏やかな感情表現に価値を置く点に相違があるとされる。しかし、資料と図によると、日本とアメリカでは、**c**は共通している。

a に入る記述

- ア 出現率が最も高いのは、アメリカではポジティブで強い感情表現を含む投稿で、日本ではネガティブで穏やかな感情表現を含む投稿である
- イ アメリカではネガティブな感情表現を含む投稿よりもポジティブな感情表現を含む投稿の出現率が高く、日本では強い感情表現よりも穏やかな感情表現を含む投稿の出現率が高い

b に入る記述

- ウ それと反対のポジティブで穏やかな感情表現を含む投稿
- エ それと同様のネガティブで強い感情表現を含む投稿

c に入る記述

- オ 最も出現率が高い投稿の影響度が最も低く、最も出現率が低い投稿の影響度が最も高い点
- カ 最も出現率が高い投稿の影響度が最も高く、最も出現率が低い投稿の影響度が最も低い点

- | | | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|---|-------|-------|-------|
| ① | a — ア | b — ウ | c — オ | ② | a — ア | b — ウ | c — カ |
| ③ | a — ア | b — エ | c — オ | ④ | a — ア | b — エ | c — カ |
| ⑤ | a — イ | b — ウ | c — オ | ⑥ | a — イ | b — ウ | c — カ |
| ⑦ | a — イ | b — エ | c — オ | ⑧ | a — イ | b — エ | c — カ |

旧倫理

問 2 下線部①に関連して、生命に関する倫理や法についての事柄の説明として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 妊娠中に子の遺伝病や障害の有無を診断することはできるが、体外で受精させた卵を女性の体に戻す前の段階では診断できない。
- ② 日本の現行の臓器移植法では、ある人の脳幹を含む脳全体が不可逆的に機能停止した時、その人が臓器提供者になる場合に限り死亡判定ができる。
- ③ 代理母と依頼者の間で、生まれた子の親権などが争われ、子がベビー M と呼ばれて取り沙汰された裁判では、代理出産契約は無効とされた。
- ④ 医師が、患者の自己決定より、患者にとって利益になるという自分の判断を優先させ、患者の選択に干渉することは、パターンリズムと言われる。

問 3 下線部②に関して、メディアと社会の関わりについての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① マクルーハンは、活版印刷の発明によって、黙読する文化が広がっていき、人々の物事の捉え方や思考のあり方が変容したと論じた。
- ② アンダーソンは、匿名の人々がつながることのできるインターネットの発達によって、「想像の共同体」が生み出されたと論じた。
- ③ 情報通信技術 (ICT) 革命によって、情報へのアクセスが容易になり、国家間の情報格差は解消されたが、個人間の情報格差は拡大した。
- ④ インターネット上のデジタル・データは、容易にコピー (複製) できないため、知的財産権 (知的所有権) の侵害という問題は生じにくい。

問 4 下線部㉑に関して、多文化・多宗教状況における、人々の共生とそれをめぐる課題に関する用語の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 文化摩擦とは、異なる文化が交流する際に生じる対立や衝突を指すが、これは異文化理解の進んだ今日では、ほとんど見られない。
- ② ヘイトスピーチとは、ある社会のマイノリティが、マジョリティの不寛容さを告発するために行う、強い批判の発言を指す。
- ③ エスノセントリズムとは、自民族の文化や価値観を最も優れた良いものとする立場で、他民族に対する抑圧的・敵対的な振る舞いを伴うことがある。
- ④ 同化主義とは、ある社会のマジョリティが、マイノリティに配慮して、その文化に同化していくことによって、共生を目指す立場のことである。

問 5 下線部㉒に関連して、青年期の心身の発達・成熟に関して述べた説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① これまで体験したことのない様々な役割や活動に取り組み、試行錯誤する役割実験は、自己理解を深め、人格を形成することに役立つ。
- ② 思春期に現れる第一反抗期には、自立を目指す欲求が高まり、親や教師などの大人や社会規範に対して拒否的・反抗的になることが多くなる。
- ③ 大人になることを猶予された青年は、既成の文化の優れた部分を積極的に取り入れてさらに発展させることにより、若者文化を形成する。
- ④ 時代と共に身体的な発達や成熟が促進される発達加速現象により、青年期の開始時期が早くなり、それに伴い青年期の終了時期も早まった。

旧倫理

Ⅱ 71 ページの会話があった数日後の放課後、EとFは次の会話を交わした。

F：今日の倫理の授業で、① ステレオタイプの話があったね。あれはインターネット上でも、よく見られる話で、ステレオタイプとして捉えるのは受け取る人なんだから、やっぱり受け取る人のリテラシーが重要じゃない？

E：うーん。インターネット上でステレオタイプを用いないのは、私も現実的に無理だと思うし、② 決まった型を用いることの利点があるのも分かる。話が分かりやすくなるとか。でも、インターネット上で偏見が増幅されていて、それにステレオタイプも関与しているでしょう？ 誰がどのように読むかはその人次第とはいえ、受け取る人のリテラシーのことだけを問題としてしまっているのかなって。

F：どういうこと？

E：ええと、インターネットの特徴の一つは双方向性だよね。つまり、受け取る人が、即座に発信する人になり得ることを考えると、受け取る人のリテラシーと、発信する人の責任を、切り離すことはできないんじゃないかな。

F：でも、インターネットでは自由に発信できるんだから、不特定の誰かが、誰かに対してステレオタイプ的な見方を発信する自由もあるんじゃない？

E：そうだね。うーん、だけどその「誰か」って、確かに見知らぬ「誰か」ではあるけれども、実際には私とか、あなたという③ 個人であるわけでしょう？ それぞれにステレオタイプからはみ出る部分があるのに、一方的に相手を型にはめて、言いつ放しにするのは、無責任じゃないかな。相手の人格を尊重して、真摯に向き合うことは、やっぱりインターネット上でも重要で、きちんと相手に応答するような姿勢を持つておく必要があると思うんだ。

F：なるほど、発信する人は相手の求めに応じて答える責任を持つべきだと、Eは考えているんだね。理想としては分かるよ。だけど、そういう理想から外れる自由もインターネットにはあるんじゃないかな。…ただ、自由であるからといって、何も考えずに偏見を増幅させていってよいわけではないし、確かに発信する人の問題でもあるか。それにこれからはAIを、誰が、どこまで、どうやって使うかといったことも考えなくちゃいけないしね。

- 問 6 下線部①に関して、次の資料はステレオタイプについて論じている文章で、76 ページの会話の日の午前中、倫理の授業で配られたものである。資料の内容について述べたア～ウから適当なものを全て選んだとき、その組合せとして正しいものを、後の①～⑦のうちから一つ選べ。 30

資料 リップマン『世論』より

省 略

- ア 人が情報を捉える際に用いるステレオタイプとは、個人が各々独自に作り上げるものである。
- イ ステレオタイプを用いることによって、情報を毎回、細かく個別的なものとして把握するという、骨の折れる作業を軽減することができる。
- ウ 互いに尊厳を配慮した付き合いを可能にするのは、我々の文化の中で既に与えられている定義に依拠して、相手を理解しようとする姿勢だ。

- ① ア ② イ ③ ウ ④ アとイ
⑤ アとウ ⑥ イとウ ⑦ アとイとウ

旧倫理

問 7 下線部㉔に関連して、性格の捉え方の一つである、類型論に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① シュブランガーは、自己の内面に関心が向かうか、自己の外部からもたらされる刺激に関心が向かうかによって、性格を二つの類型に分けた。
- ② オルポートは、それぞれの人が一貫して見せる行動傾向を性格類型と呼び、それを基準としてパーソナリティを理解しようとした。
- ③ 類型論とは、主立った生物学的要因や心理学的要因を列挙し、それらの要因が当てはまる程度によりパーソナリティを判定する考え方である。
- ④ 類型論には、性格を直感的、総合的に把握でき、異なる類型同士を比較しやすいという利点があるが、型にはめることに伴う欠点もある。

問 8 下線部㉕に関連して、次のア・イは、個人と社会の関係を論じた思想家についての説明であるが、それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 32

ア 個人の自由は最大限尊重されるべきものとし、個人の財産を使用する自由に、再分配を目的とした課税などで国家が介入することを否定した。

イ 個人は共同体の中で人格を形成し、その共同体の共通善を身に付けると論じ、個人を共同体から切り離す、近代の個人主義的な見方を批判した。

- | | | | |
|-----|---------|---|---------|
| ① ア | リオタール | イ | ノージック |
| ② ア | リオタール | イ | マッキンタイア |
| ③ ア | ノージック | イ | リオタール |
| ④ ア | ノージック | イ | マッキンタイア |
| ⑤ ア | マッキンタイア | イ | リオタール |
| ⑥ ア | マッキンタイア | イ | ノージック |

- 問 9 次の文章は、76 ページの会話の後に、F が SNS に投稿したものである。76 ページの会話を踏まえて、文章中の空欄 **a** ・ **b** に入る記述の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **33**

最近、友人とインターネットの使い方について話している。友人は発信する人の姿勢が気になっているようで、**a** と言っていた。正直言って最初は理解できなかったけど、今では納得している。一律にルールで規制するより、遠回りのようだけど、逆に現実的な対応かもしれないと思う。

振り返ってみると、**b** については、友人と共有できていたかな。

a に入る記述

- ア インターネット上でも、書き込みの対象となる相手を尊重し、応答の構えを持っておくことが必要だ
イ インターネットは双方向的なメディアなので、直接知らない相手に対する書き込みは、しないほうがよい

b に入る記述

- ウ インターネットは、誰にどう読まれるか制御できないメディアであるので、人を型にはめて捉えるステレオタイプについては、用いないようにするのがインターネット利用者の責任だという考え方
エ インターネットは、自由に意見を発信できるメディアではあるけれど、自分の書き込みが、ステレオタイプとして受け取られ、偏見を助長する可能性があることに、注意しておくべきだという考え方
オ インターネットは、偏見を助長するステレオタイプも流通させるという問題を持つメディアであるが、この問題は受け取る人のリテラシーを高めれば解決するという考え方

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① a — ア | b — ウ | ② a — ア | b — エ |
| ③ a — ア | b — オ | ④ a — イ | b — ウ |
| ⑤ a — イ | b — エ | ⑥ a — イ | b — オ |